



ハートフルなんぶ

2022. 7月号 vol. 284



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川1201番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

夏季学習室のご利用について

夏休み期間中は平日も2階大会議室を学習室として利用できる日があります。

南部図書館 7 月学習室開放日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					休館日	休館日
3	4	5	6	7	8	9
休館日	休館日	休館日				開放
10	11	12	13	14	15	16
開放		休館日				開放
17	18	19	20	21	22	23
開放	開放	休館日				開放
24	25	26	27	28	29	30
開放		休館日			休館日	×
31						
×						

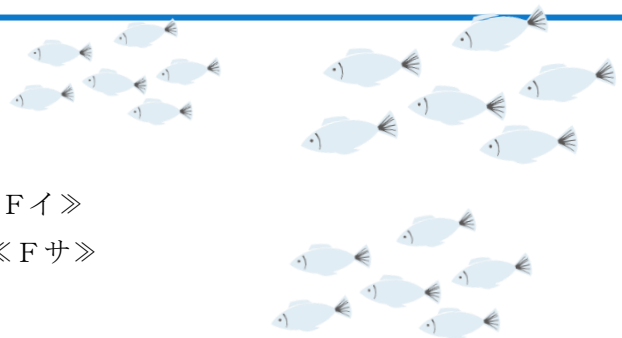
南部図書館 8 月学習室開放日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		休館日				開放
7	8	9	10	11	12	13
開放	開放	休館日	開放	開放	開放	開放
14	15	16	17	18	19	20
開放	開放	休館日	開放	開放	開放	開放
21	22	23	24	25	26	27
開放		休館日				開放
28	29	30	31			
開放		休館日	休館日			

※ 学習室開放時間 午前10時～午後5時30分まで(時間厳守)
 ※ 蓋つきの飲み物以外の飲食はできません。(昼食スペースなし)
 ※ マスク着用、手洗い、消毒等、感染予防にご協力ください。
 ※ 感染症の影響などで、変更する可能性があります。ご了承ください。

新刊案内

- ・『幸村を討て』 今村 翔吾／著 中央公論新社 <Fイ>
- ・『ショートケーキ。』 坂木 司／著 文藝春秋 <Fサ>
- ・『白銀騎士団』 田中 芳樹／著 光文社 <Fタ>
- ・『古本食堂』 原田 ひ香／著 角川春樹事務所 <Fハ>
- ・『カムカムマリコ』 林 真理子／著 文藝春秋 <914. 6ハ>
- ・『「天气が悪いと調子が悪い」を自分で治す本』 佐藤 純／著 アスコム <498サ>
- ・『annas の和の刺繍』 川畑 杏奈／著 光文社 <594カ>
- ・『ホクトの1番おいしいきのこレシピ』 ホクト(株)／監修 池田書店 <596ホ>
- ・『コールセンターもしもし日記』 吉川 徹／著 三五館シンシャ <673ヨ>
- ・『映画のメリーゴーラウンド』 川本 三郎／著 文藝春秋 <778カ>
- ・『THE やんごとなき雑談』 中村 倫也／著 KADOKAWA <778ナ>
- ・『女ともだち』 はらだ 有彩／著 大和書房 <902ハ>



7月のテーマ 「涼」

- ・『ナキメサマ』 阿泉 来堂／著 KADOKAWA 《BFア》
- ・『そこに無い家に呼ばれる』 三津田 信三／著 中央公論新社 《Fミ》
- ・『日本アイスクロニクル』 アイスマン福留／著 辰巳出版 《588ア》
- ・『手づくりビール読本』 笠倉 暁夫／著 農山漁村文化協会 《588カ》
- ・『原由美子の大人のゆかた』 原 由美子／著 CCCメディアハウス 《593ハ》
- ・『かわいいかぎ針編み浴衣に合わせたい和雑貨』 アップルミンツ 《594カ》
- ・『今日もかき氷』 蒼井 優／著 マガジンハウス 《596ア》
- ・『おいしいゼリーブック』 グラフィック社編集部／編 グラフィック社 《596オ》
- ・『ズドン!とウまいやっこ豆腐』 きじま りゅうた／著 永岡書店 《596キ》
- ・『透明和菓子ごよみ』 鳥居 満智栄／著 淡交社 《596ト》
- ・『ときめく金魚図鑑』 尾園 暁／写真・文 山と溪谷社 《666オ》
- ・『60歳からの夏山の天気』 日本気象協会／著 成山堂書店 《786ロ》



Essay

夏の風物詩

暑くなると水が恋しくなる。体は水をいつもより欲するし、表面の体温があがるから、水を浴びたり、浸かったりしたくなる。

幼い頃から川遊びが大好きだった。実家は兼業農家で、一番年下の私は休みの日といえば両親と共に、いつも田んぼや畑にいた。田んぼに行けば、水路があってそこで、ドジョウやタニシを捕まえて遊んだ。川上からホースのような蛇が私に向かって流れてきた時は、川底に向かって長く垂れたイネ科の雑草につかまり慌ててのぼった。

兼業農家の夏休みは忙しい。夏のリンゴの収穫期には、まだ青いリンゴを、朝から何箱も収穫し、庭いっばいに広げた台の上へ並べ、赤く着色するために上から散水する準備をよく手伝った。夏の風物詩だった。

わたしが夏休みのプールから帰ってくるや否や、手伝いを頼まれ休む暇もない。父が声をかけて家族みんなですの準備を手伝った。真夏の炎天下。暑くてみんなのイライラもピーク（笑）小学生の私は何かしらの緊張感をもってこの作業を手伝っていた。準備が終わると、青くていかにもまずそうなリンゴたちは水浴びを始め、黒い寒冷紗がかけられる。散水された水が足元に流れてきて、ビーチサンダルを履いた足に触れてヒヤッとなる。私はその水でひと遊びする。

散水作業はいつも朝から夜まで数日行われた。散水が行われている夜は、庭で水の音がサーサーと聞こえて、部屋に吹き込む風も涼しく感じた。夜寝ていると、父か母が、ガラガラと縁側のサッシを開け外水道の蛇口をキュッと止める音がした。散水の音がやむとカエルの大合唱となる日もあった。

今はこのリンゴを作っていないので、この光景を見ることはなくなった。そして、多分二度と見ることはないと思う。水を何時間も散水し続けるなんて、思えば、環境負荷やコストがかかりすぎて現実的ではない。それでもりんごは赤いものが好まれる。

子供たちと川によく遊びに行くが、しばしば、川に農業資材が落ちている。小学校2年になる子どもが学校で、海洋プラスチック汚染について学習しており、川にゴミが落ちていると、海のクジラがプラスチックを食べちゃうから拾おう、と今の子ども達は環境問題にも積極的だ。本日から夏至。未来の農業に期待を込める。

寄稿：夕焼けざくろ

2022年7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2022年8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

南部図書館

開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です